

おぞの

尼崎市立小園小学校

平成30年2月20日

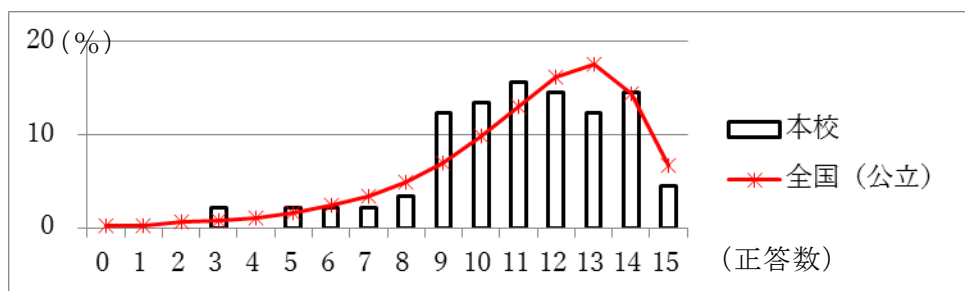
No.12

－平成29年度 学力・学習状況調査（文科省）の結果について－

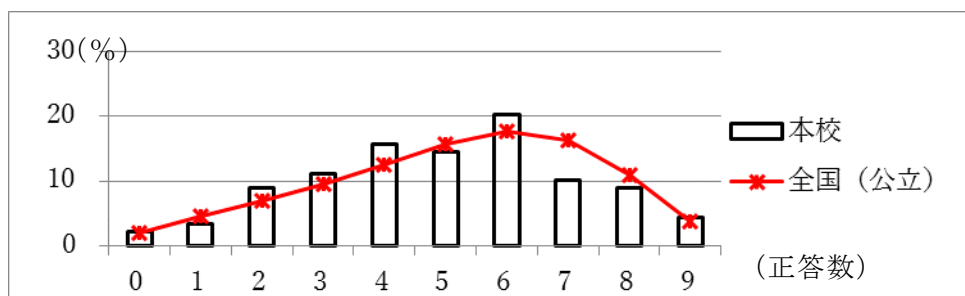
遅くなりましたが、今年度の「学力・学習状況調査」について、一定の整理ができましたので報告いたします。

1 問題紙4種の正答数分布

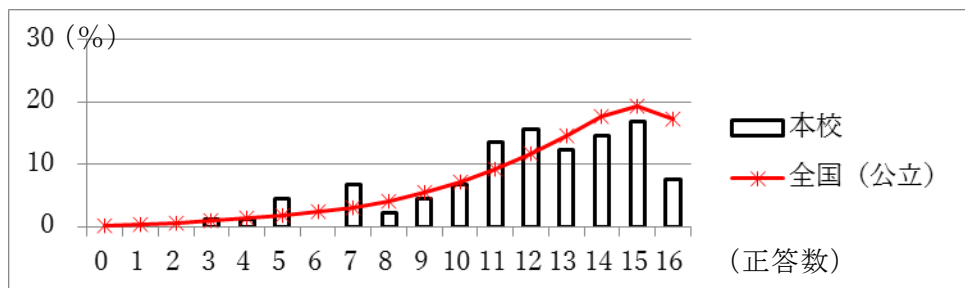
(1) 国語A：主として「知識」



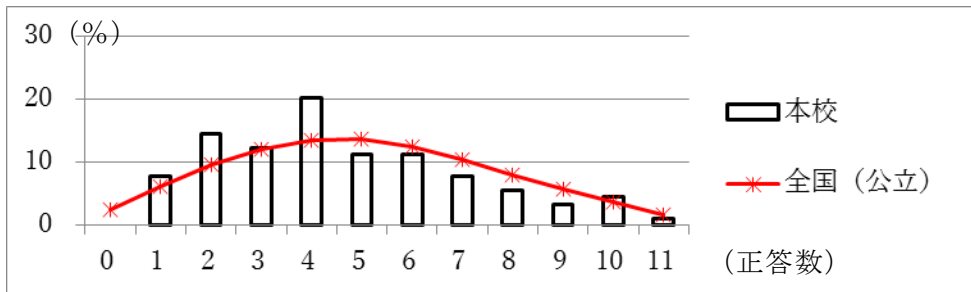
(2) 国語B：主として「活用」



(3) 算数A：主として「知識」



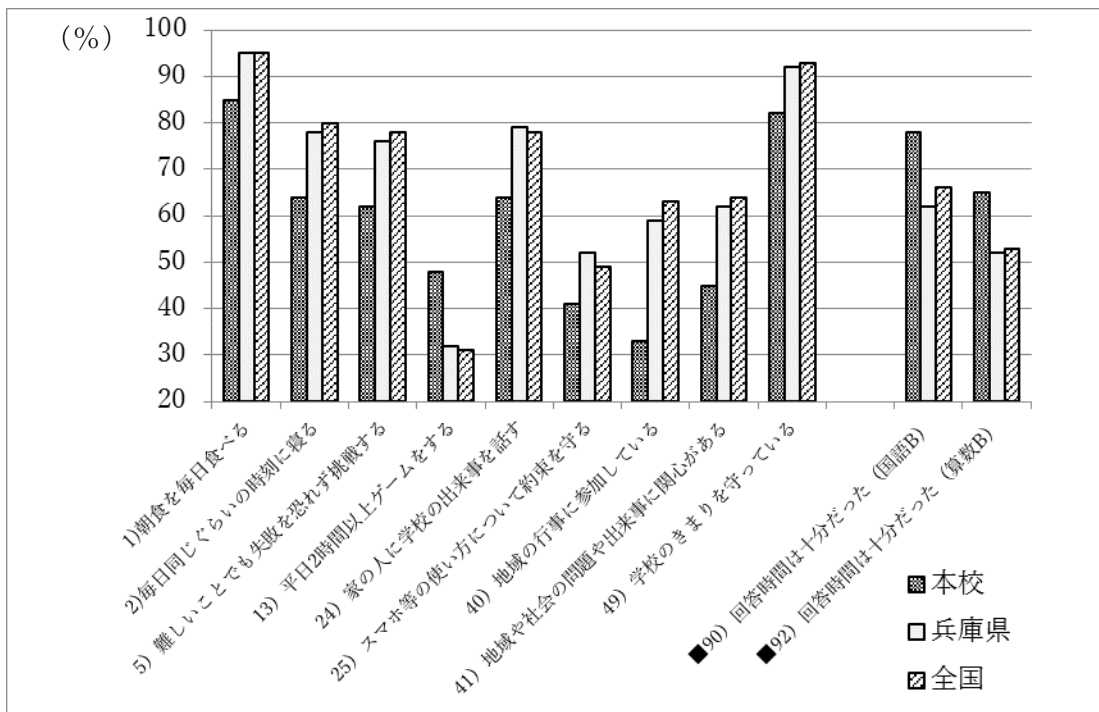
(4) 算数B：主として「活用」



⇒ 結果及び課題

- ・無回答率が減少し、総合的に県や国との大きな差異は見られない。
- ・国語・算数ともに、市の課題とされた問題は、概ね回答できている。
- ・問題文の中から必要な情報を整理・活用する力をつける必要がある。

2 児童質問紙（兵庫県もしくは全国と10ポイント以上の差がある項目（抜粋））



⇒ 課題解決に向けた懸案・努力事項

- ・基本的な生活習慣の定着の大切さを再認識する。
- ・地域の一員である自覚を育み、地域にかかわろうとする気持ちを育む。
- ・約6割が所持する携帯電話やスマホの使い方について約束事を徹底する。
- ・ゲームの過度な使用を控える。

※「よくやる」と「あまりやらない」では、各テストで12～17ポイントの差

■ケアレスミスをなくすため、時間を有効に使い、見直し・解き直しを徹底する。